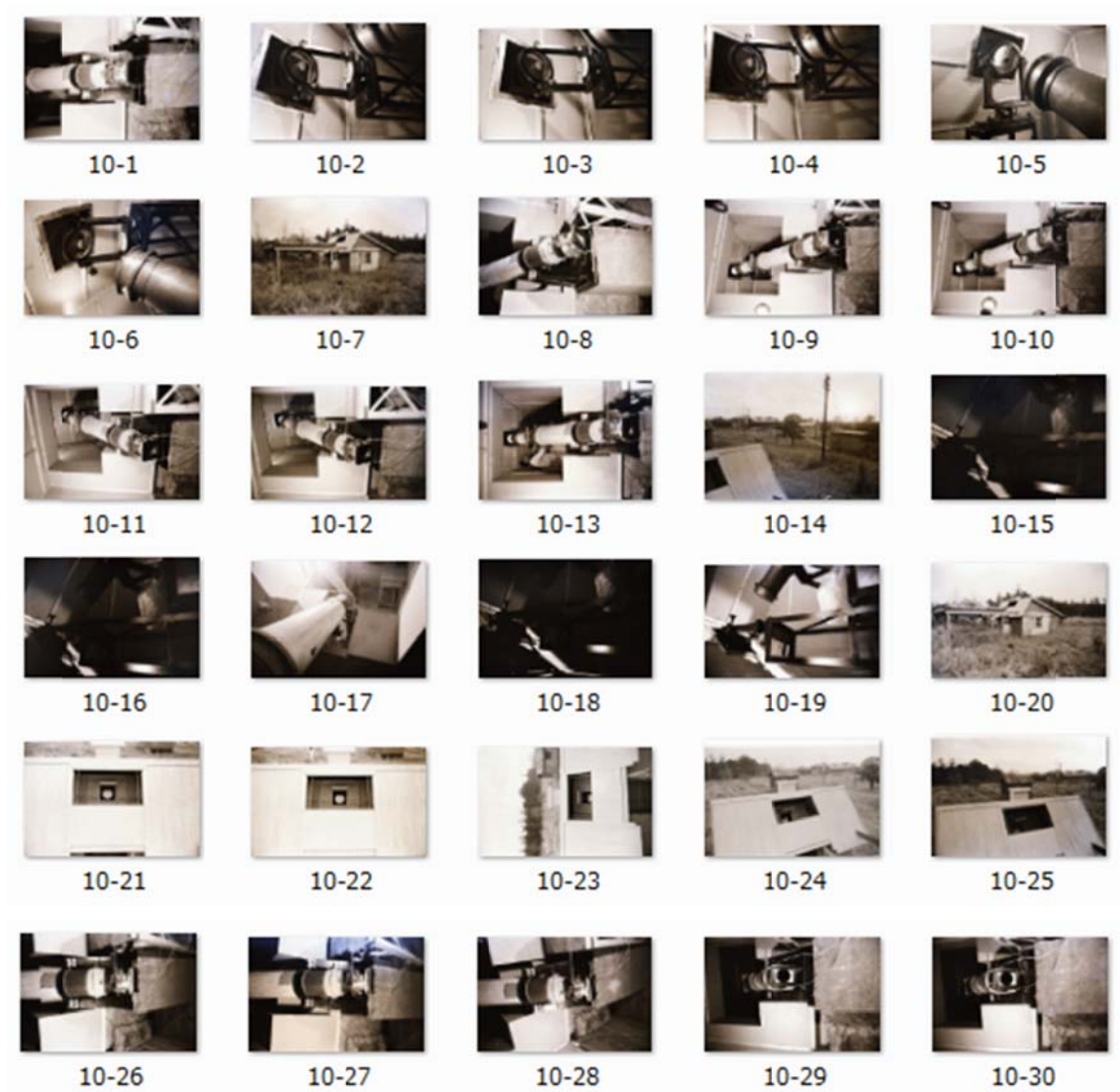


***1957～1958年頃のネガアルバムを発見—その6— (三鷹の極望遠鏡)**

アーカイブ室新聞 第267号 (2009年12月30日) に「東京天文台 (三鷹) の極望遠鏡について」という記事を書いた。この記事を書く際には、三鷹の極望遠鏡を製作した関口直甫氏から資料を借りて書いた。今回発見したネガフィルムファイルの中にこの三鷹の極望遠鏡に関係した写真が多数あることに気がついた。それらの写真を並べたサムネイルが以下である。おそらく関口氏からお借りした写真のネガもこの中にあると思われるが、第267号の写真1「三鷹時代の極望遠鏡」の写真は、この一連の写真と微妙に違う。写真1が第267号の写真、写真2が今回の中のそれらしい写真であるが、よく見るとどうも同じものではないようだ。



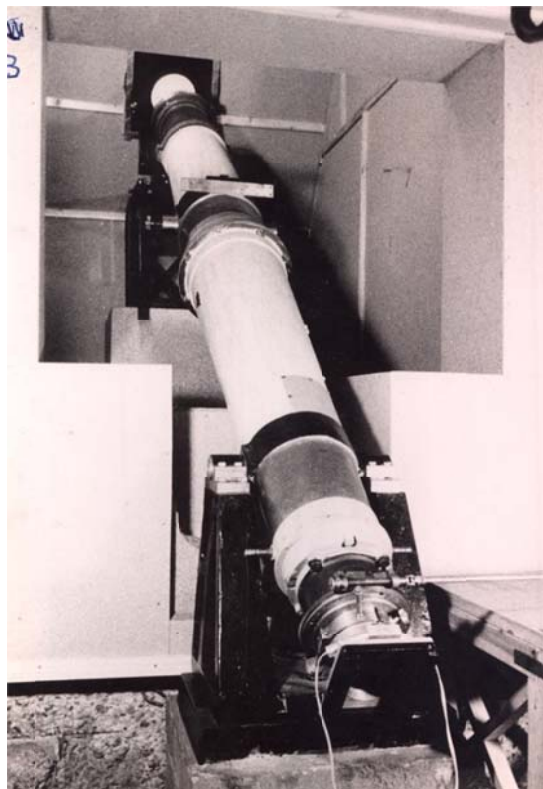


写真1 第267号に使用した写真



写真2 今回発見の写真

第267号に使用した極望遠鏡の全体が写ったものと今回発見された似た写真を比べると写真2をトリミングすれば写真1になるかと思ったが、やはり細部まで見ると違っている



写真3

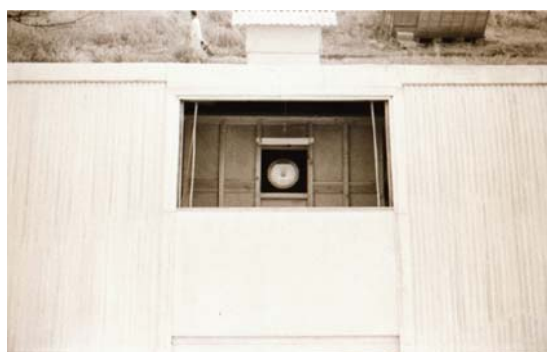


写真4

ようである。これ等の写真は関口氏が持っていた写真とはやはり別のものであろう。今や、三鷹に極望遠鏡があったこと自体を知っている人たちは現役の国立天文台の中にいない。写真3が三鷹の極望遠鏡が入っていた建物で、背後に連合子午儀室の4号の屋根が見える。また、写真4は建屋の窓から極望遠鏡の対物レンズが見える写真である。写真5では右後方にゴーチエ子午環棟、その左にはレプソルド子午儀室が見え、さらに左には65cm赤道儀望遠鏡のドームが見えている。



写真 5

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp